

スーパーマーケット景気動向調査

2014年5月調査結果(4月実績)

(2014年5月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月及と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3カ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3カ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年5月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

駆け込みによる反動で現状判断は大きく下落も、先行き判断は反発をみせる

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は39.7と前月から-13.6と大きな落ち込みをみせた。景況感調査の現状判断は消費者購買意欲DIが36.1(前月比-22.4)と特に大きく下落が大きくなっている。周辺地域景気判断は42.3(前月比-22.4)といずれも50を大きく割り込み結果となった。先行き判断は水準としては依然として水準としてはマイナス圏であるものの、前月比では上昇しており過度な悲観に対する修正がみられた。

経営動向調査では売上高DIが-15.1(前月比-36.0)と消費税率引き上げと駆け込み需要からの反動の影響を受け大きく下落した。同様に収益DIも-8.9(前月比-22.5)と落ち込みを見せた。客単価DIが-2.0(前月比-24.2)や来客数DI-15.4(前月比-18.2)が低水準に落ち込んだことが大きく影響している。販売価格DIは小幅な下落にとどまり、仕入原価各DIも高水準ながら落ち着いた動きとなった。

税率引き上げ後に乖離していた現状判断と先行き判断が交差することは想定どおりだが、今後特に先行き判断について回復基調が確認されるかが重要なポイントとなる。

現状判断

景気判断DI

当月：39.7 (-13.6)
前月：53.3

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：42.3 (-9.2)
前月：51.5

消費者購買意欲DI

当月：36.1 (-22.4)
前月：58.5

周辺地域 競合状況DI

当月：39.7 (-4.7)
前月：44.4

先行き判断

景気判断DI

当月：40.0 (+7.0)
前月：33.0

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：43.7 (+4.4)
前月：39.3

消費者購買意欲DI

当月：40.4 (+8.5)
前月：31.9

周辺地域 競合状況DI

当月：39.1 (-0.9)
前月：40.0

経営動向

売上高DI

当月：-15.1 (-36.0)
前月：20.9

収益DI

当月：-8.9 (-22.5)
前月：13.6

販売価格DI

当月：7.0 (-1.6)
前月：8.6

客単価DI

当月：-2.0 (-24.2)
前月：22.2

来客数DI

当月：-15.4 (-18.2)
前月：2.8

生鮮品仕入原価DI

当月：11.1 (-2.0)
前月：13.1

食品仕入原価DI

当月：5.5 (-7.3)
前月：12.8

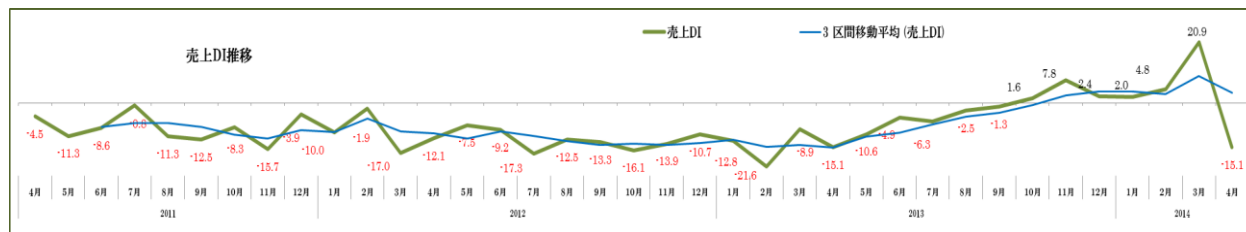
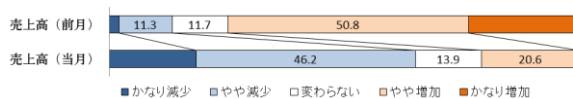
I. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

ゆるやかな回復傾向が続き 6 ヶ月連続プラスを示していたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

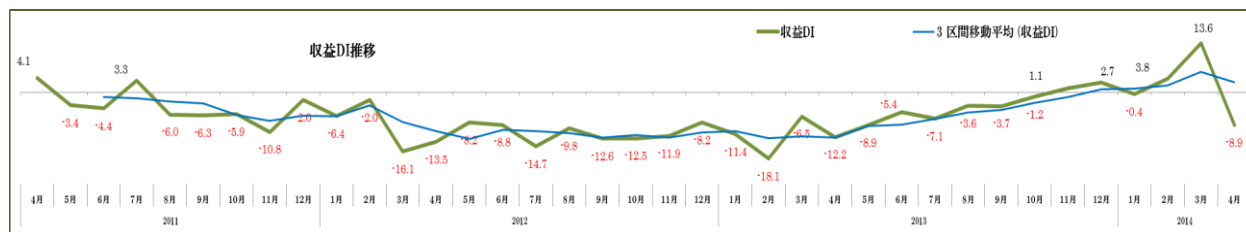
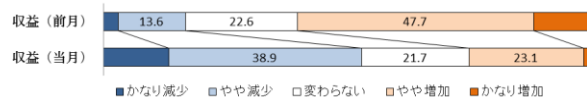
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.1	11.3	11.7	50.8	24.2	20.9
売上高 (当月)	18.4	46.2	13.9	20.6	0.9	-15.1



②収益 DI

ゆるやかな回復傾向が続いていたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

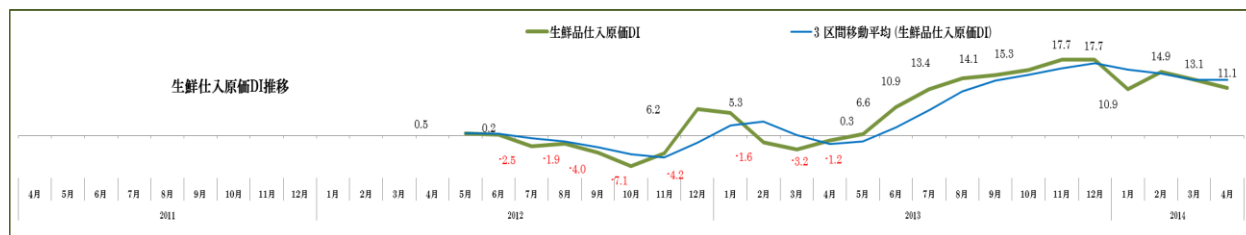
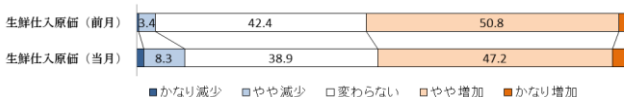
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	3.0	13.6	22.6	47.7	13.2	13.6
収益 (当月)	13.1	38.9	21.7	23.1	3.2	-8.9



③生鮮仕入原価 DI

DI は依然として高い水準にあるものの 12 月をピークにゆるやかに下降傾向

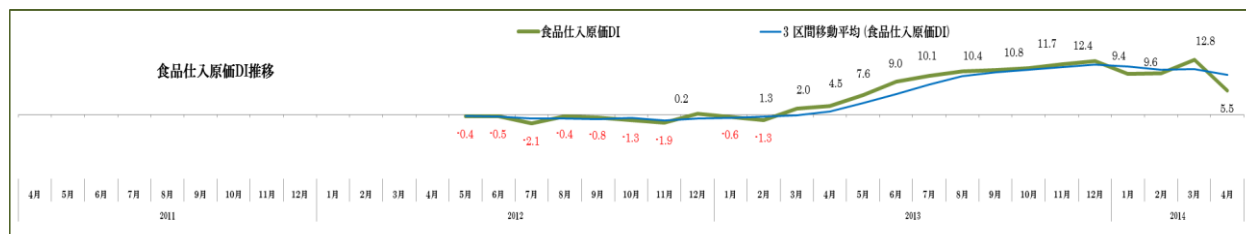
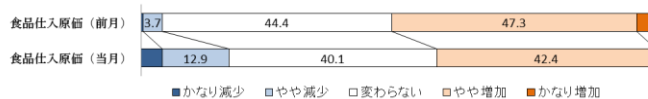
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.4	3.4	42.4	50.8	2.9	13.1
生鮮仕入原価 (当月)	1.4	8.3	38.9	47.2	4.2	11.1



④食品仕入原価 DI

4 月は DI が下落し、プラスではあるが落ち着いた動きとなっている

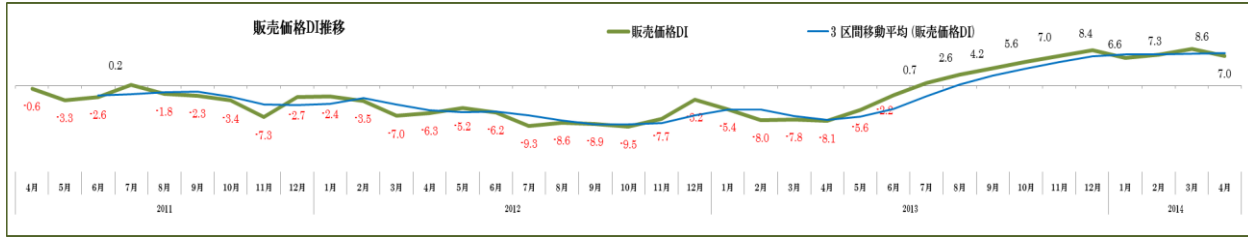
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.4	3.7	44.4	47.3	4.1	12.8
食品仕入原価 (当月)	4.1	12.9	40.1	42.4	0.5	5.5



⑤販売価格 DI

引き続きプラスを維持しており、高水準で横ばい傾向が続いている

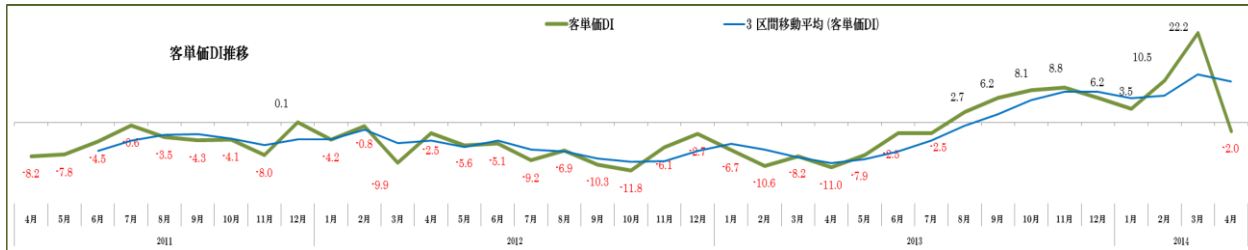
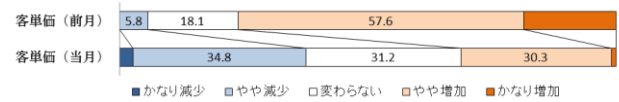
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	8.6	52.9	34.0	4.5	8.6
販売価格 (当月)	1.8	12.7	41.8	42.7	0.9	7.0



⑥客単価 DI

ゆるやかな回復傾向が続き 8 ヶ月連続プラスを示していたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

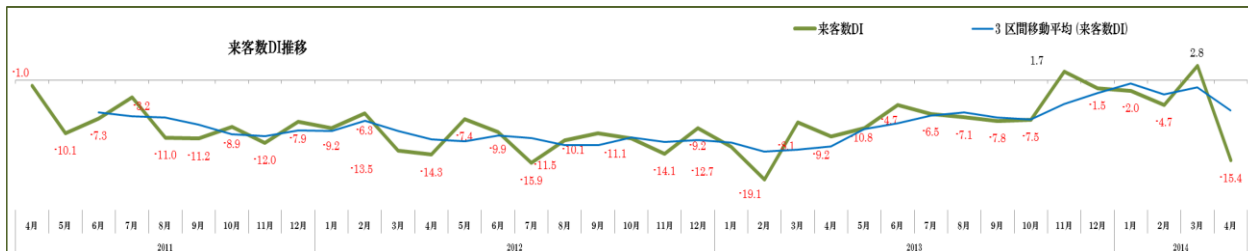
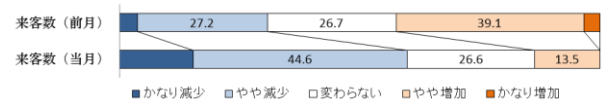
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	5.8	18.1	57.6	18.5	22.2
客単価 (当月)	2.7	34.8	31.2	30.3	0.9	-2.0



⑦来客数 DI

方向感の定まらない動きをみせており、4月は消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	3.7	27.2	26.7	39.1	3.3	2.8
来客数 (当月)	15.3	44.6	26.6	13.5	0.0	-15.4

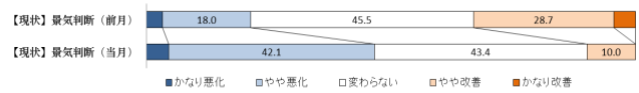


2. 景況感調査

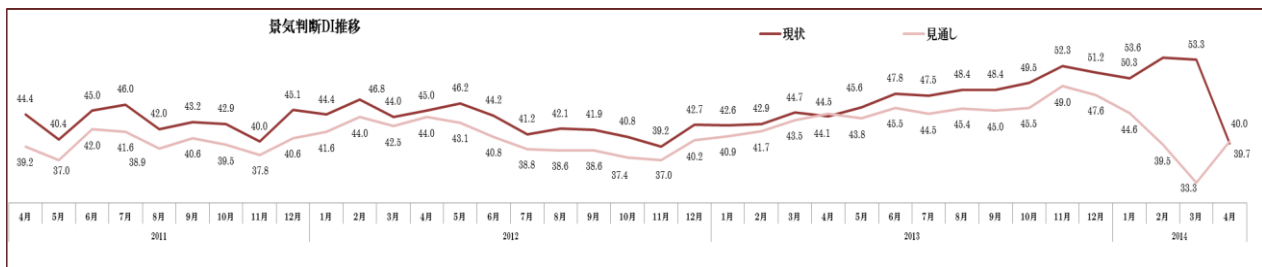
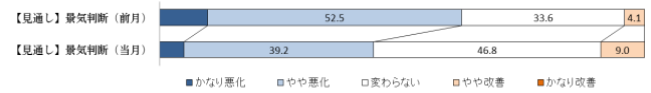
① 景気判断 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断(前月)	3.3	18.0	45.5	28.7	4.5	53.3
【現状】景気判断(当月)	4.5	42.1	43.4	10.0	0.0	39.7



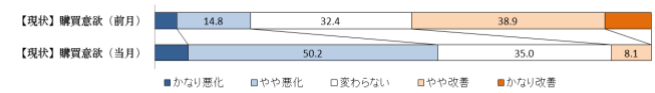
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断(前月)	9.8	52.5	33.6	4.1	0.0	33.0
【見通し】景気判断(当月)	5.0	39.2	46.8	9.0	0.0	40.0



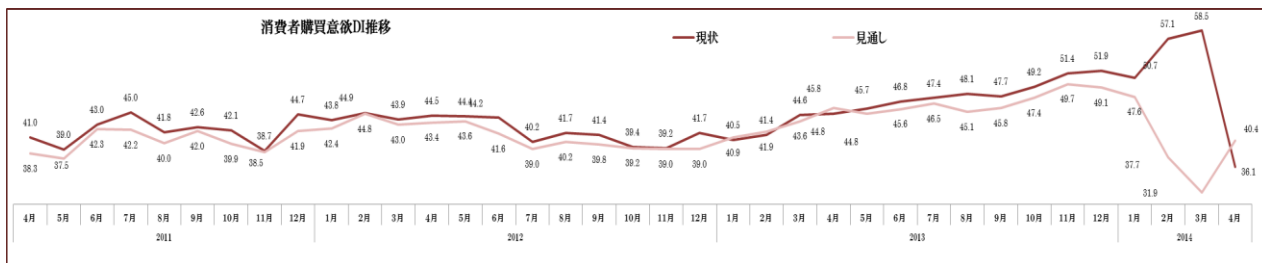
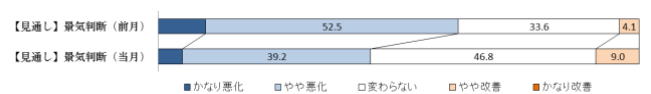
② 消費者購買意欲 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲(前月)	4.5	14.8	32.4	38.9	9.4	58.5
【現状】購買意欲(当月)	6.7	50.2	35.0	8.1	0.0	36.1



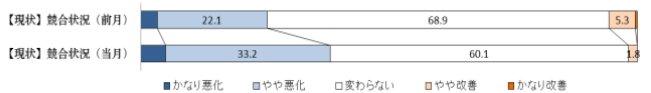
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲(前月)	9.5	58.4	27.2	4.9	0.0	31.9
【見通し】購買意欲(当月)	3.2	40.7	47.5	8.6	0.0	40.4



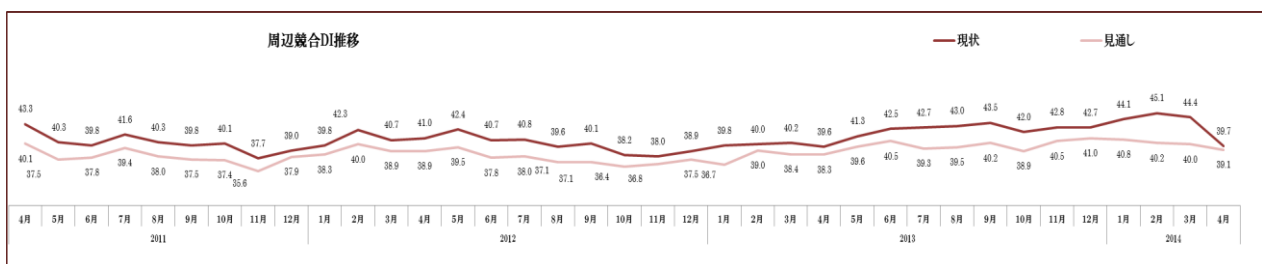
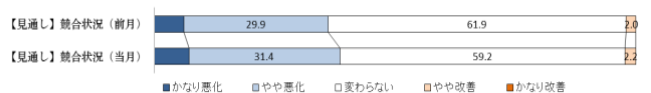
③ 周辺地域競合状況 DI

現状判断、見通しともに改善傾向はみられず、横ばい傾向続く

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況(前月)	3.3	22.1	68.9	5.3	0.4	44.4
【現状】競合状況(当月)	4.9	33.2	60.1	1.8	0.0	39.7



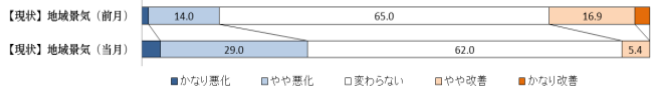
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況(前月)	6.1	29.9	61.9	2.0	0.0	40.0
【見通し】競合状況(当月)	7.2	31.4	59.2	2.2	0.0	39.1



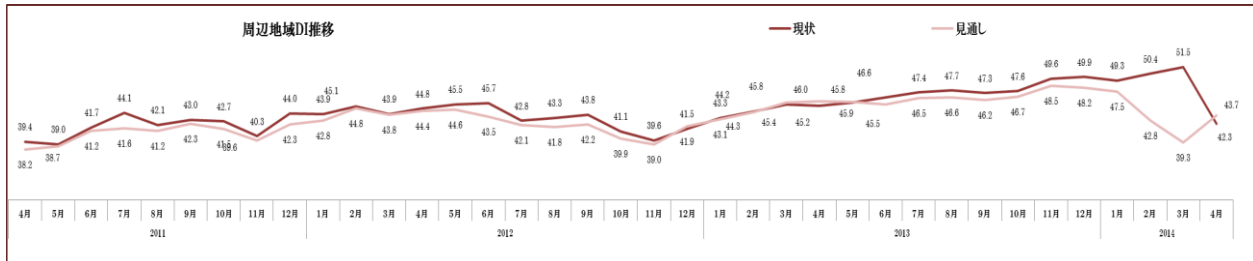
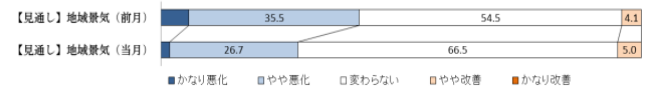
④周辺地域景気判断 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.2	14.0	65.0	16.9	2.9	51.5
【現状】地域景気 (当月)	3.6	29.0	62.0	5.4	0.0	42.3



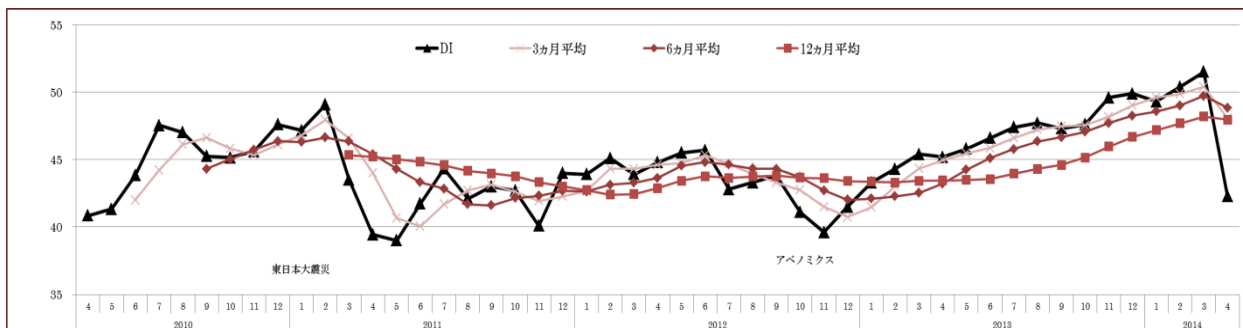
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	5.8	35.5	54.5	4.1	0.0	39.3
【見通し】地域景気 (当月)	1.8	26.7	66.5	5.0	0.0	43.7



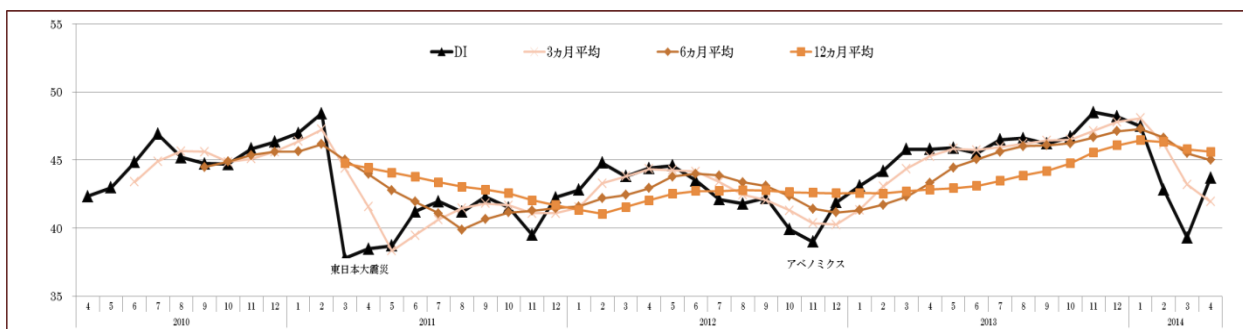
長期傾向

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落し、2012年11月より継続していた上昇傾向は途絶えることになった。見通し判断はすでに1月から下落を続けていたが4月は反発をみせている。大きく乖離を続けていた現状判断と見通し判断が交差する結果なり、税率引き上げ後の動きとしてはおよそ想定内である。見通し判断がやや反発したことから影響は当初の予想に比べて小さかった可能性もある。今後はどの水準まで回復をみせるか、特に2~3ヵ月後の見通し判断の回復基調が確認されることが重要であり、動向を注視していきたい。

現状判断 (中長期傾向)



見通し判断 (中長期傾向)



3.カテゴリー動向

カテゴリー動向概要

消費税率引き上げによる駆け込みの反動から、保存期間の長い一般食品と非食品のカテゴリーを中心に落ち込みが目立った。一方で青果や畜産が相場高にも支えられ比較的堅調に推移されていることや、日配や一般食品の一部については4月の後半からの回復基調がみられた店舗もあった。少雨で温暖な気候に恵まれ、行楽需要による惣菜や季節性の高い商品が好調であった地域もみられた。

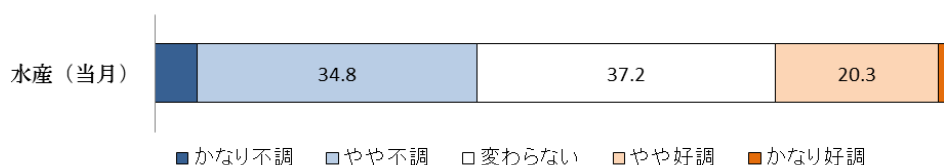
【青果】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (当月)	5.7	26.8	27.3	37.3	2.9	1.2



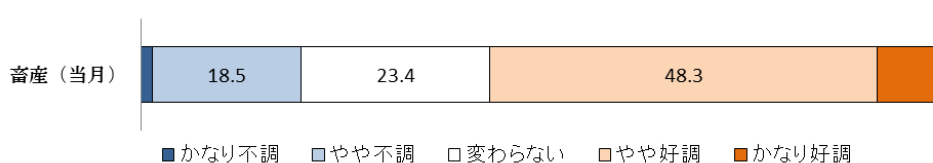
【水産】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (当月)	5.3	34.8	37.2	20.3	2.4	-5.1



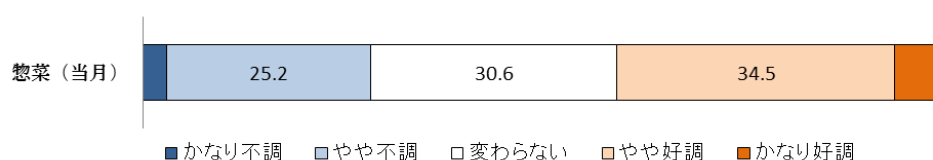
【畜産】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (当月)	1.5	18.5	23.4	48.3	8.3	10.9



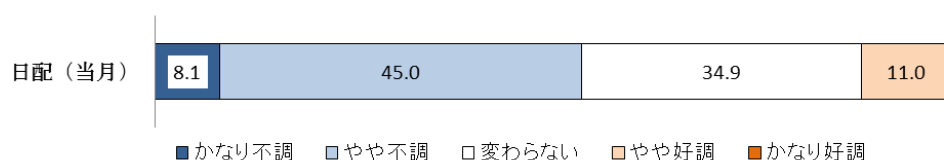
【惣菜】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜 (当月)	2.9	25.2	30.6	34.5	6.8	4.2



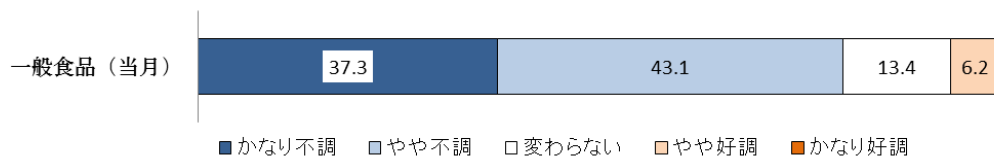
【日配】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配 (当月)	8.1	45.0	34.9	11.0	1.0	-12.1



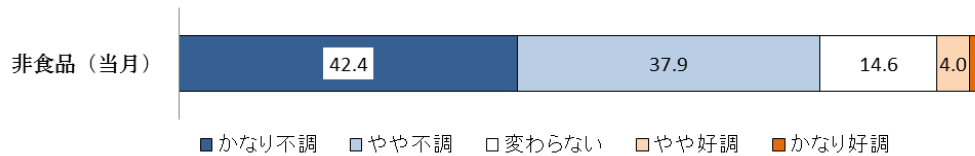
【一般食品】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品 (当月)	37.3	43.1	13.4	6.2	0.0	-27.9



【非食品】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品 (当月)	42.4	37.9	14.6	4.0	1.0	-29.2



主な好調・不調コメントまとめ

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高(前年同月比較)、果物	果物
水産	刺身、(まぐろ・鮮魚類)	相場高、不漁(仕入困難)、買い控え・反動
畜産	牛肉・豚肉相場高、販促強化	豚肉相場高、加工品
惣菜	花見などの行楽需要、販促強化	(米飯、寿司、人員の不足)
日配	販促強化	駆け込みの反動、パン、牛乳、ヨーグルト、冷凍食品
一般食品		買い控え、駆け込み需要の反動、米、酒、調味料、競合
非食品		買い控え、駆け込み需要の反動、雑貨、たばこ、競合

2014年4月キーワード TOP 3

1. 駆け込み需要の反動
2. 天候要因(好天・下旬気温が高い)
3. 相場高(生鮮食品)

スーパーマーケット経営動向調査

当月：4月速報版集計 223社

前月：3月確報版集計 244社